

ヒロシマ平和の灯のつどい

被爆73年目の夏がやってきます。8月6日の原爆投下によって、多くの命が奪われ、今もなお人びとの暮らしや健康を脅かし続けています。しかし、私たちの核廃絶の願いにもかかわらず、世界には地球を何度も破壊できるほどの核兵器が存在しています。広島に住む私たちは、非人道的な核兵器の使用を認めることはできません。核廃絶を訴え続け、世界中の人びととともに核被害のない世界を実現する責務があります。今年20回目を迎える「ヒロシマ平和の灯のつどい」は、毎年7月31日の夕暮れにろうそくを灯してカザフスタン被曝者への鎮魂歌「ザマナイ」の歌声とともに、原爆や核被害により死没された人びとの鎮魂と核廃絶を願い広島から世界へアピールするものです。



昨年の様子

多くのみなさまのご参加をお待ちしています

開催日 平成30年(2018年)7月31日(火) (参加費無料)

■ 被爆者の証言を聞く会

講師 梶本淑子(かじもと・よしこ)さん

※87歳 14歳の時、学徒動員先の三篠の工場で被爆

時間 17:30 ~ 18:30 (雨天でも開催します)

場所 JMS アステールプラザ4階大会議室A(広島市中区加古町4-17)

■ つどい ろうそくを持っての行進・合唱

時間 19:00 ~ 20:00 (15時に大雨の時は中止します)

場所 平和記念公園内 原爆死没者慰霊碑前集合



<協力>

平和の灯から採火をする
アイーダ・マクハノワさん
山陽女学園高等部1年生
(カザフスタンからの留学生)

主催 広島市女性団体連絡会議(ひろしま WENET)・広島市

連絡先 広島市男女共同参画課気付 電話 082-504-2108 FAX 082-504-2609